

歴史、土地の変化

目的

- ・ 阿下喜の今と昔の違いについて知る。
- ・ 起こった出来事や歴史について知る。

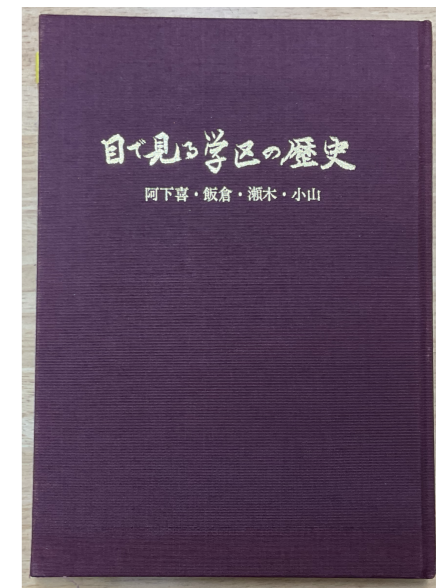
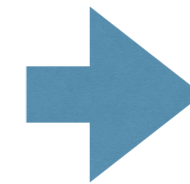
1.あげきの名前の由来

阿下喜の名前は元々上木だった。今のあげき駅の近くは、大きな池で木を浮かしていた。それを本町通りから木を上げて行ったから「上木」だった。

2.地元の人にインタビュー

西町に住んでいるYさんと東町に住んでいるTさんに阿下喜の昔のことや、土地の違いについて聞きにいきました。

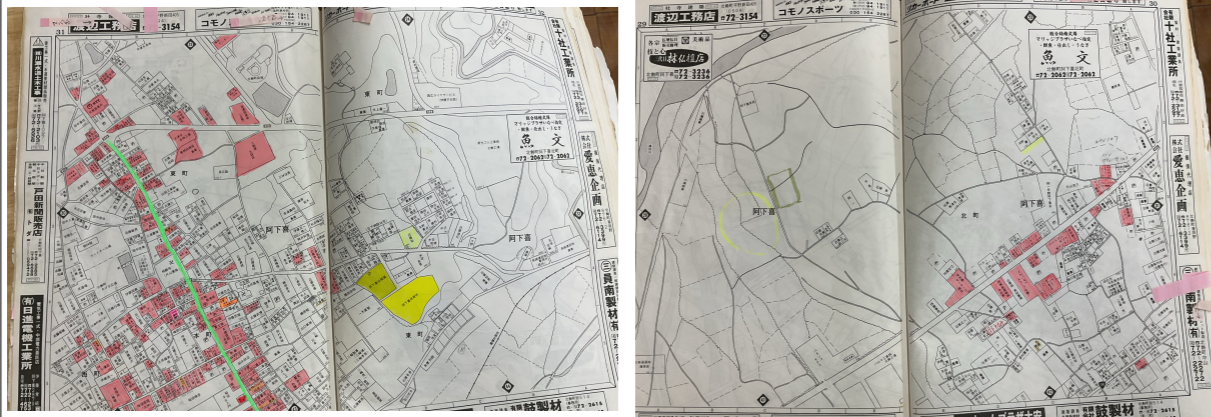
3.本で調べる。



阿下喜の今と昔の違い

昔はお店が約100店ほどあって賑やかだった。

当時の商店街↓



土地の変化

道

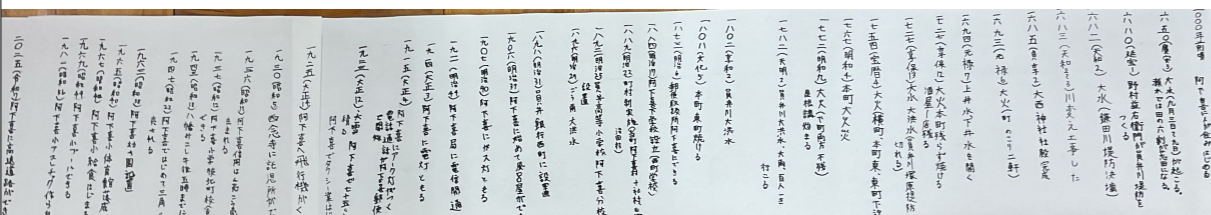


1964年 いなべ街道ができる

今まで桑名に行くのにとっても時間がかかっていたけれど早く着くようになり交通の便良くなった道が変わったことでいろんな会社に行きやすくなり農業や、商店街が少なくなった

2025年 東海環状自動車道 いなべIC開通

4.年表づくり



本を使って調べ、火事や洪水が多かったことがわかりました。

川

1683年に川替え工事



洪水が多く、はんらんしたから川の流れを変えて川替え工事をした。

1727年、1802年、1896年に洪水 そのほかにも大雨など2回ほど

農業

今高速道路があるところや保育園の近くに田んぼがたくさんあった。土地開墾をした。

今の田んぼは主に88ファームが管理している。

火事

たくさん起きたため、お金を集め、
わらの屋根から石に変えた。

| | | | |
|-------|----|-------|-----------|
| 1682年 | 大火 | 1754年 | 大火 |
| 1693年 | 大火 | 1772年 | 大火 |
| 1727年 | 大火 | 1808年 | 本町 東町 焼ける |

阿下喜豆知識

- ・赤神は昔、栄町と呼ばれていた。
- ・阿下喜小学校があったところは昔、あみを作る会社があった。
- ・保育園は昔二つあった。
- ・阿下喜小学校は桐林館の前、西念寺の近くにあった。



3.まとめ

阿下喜は昔、火事、洪水がよくあった。
商店街は昔は栄えていて100店舗ほどあった。
いなべ街道が1964年にでき、交通の便がよくなった。
阿下喜は昔、上木だった。